

総合教育会議で「統合小学校の校名（案）」を選定 ～ 校名は、12月町議会を経て正式決定 ～

平成30年4月に開校予定の（仮称）三保谷・出丸小学校と（仮称）八ッ保・小見野小学校の校名については、川島町小学校統合協議会での校名案の募集・選定、そして、教育委員会での選定に基づき、10月24日開催の総合教育会議において協議の結果、次の案のとおりになりました。

校名が正式に決定されるのは、12月町議会での審議・議決を経てからとなります。

そこで、これまでの経過、校名の由来・理由について、お知らせします。

（仮称）川島町立三保谷・出丸小学校
（案）川島町立 **つばさ南** 小学校

（仮称）川島町立八ッ保・小見野小学校
（案）川島町立 **つばさ北** 小学校

● 校名（案）の理由・由来

川島町や日本の未来を担う子どもたちが、『世の中に出て広く活躍してほしい』『川島町から世界へ羽ばたいてほしい』という願いを『つばさ』という言葉に込めています。

川島町立小学校規模適正化計画では、川島中学校とこの2校で小中一貫教育を推進することから、校名案の募集に際し、名称に統一感があることを応募基準にした経緯があります。このため、川島中学校を中心として（仮称）三保谷・出丸小学校が「南」に、（仮称）八ッ保・小見野小学校が「北」に位置することから、それぞれ「南」「北」の方位を入れ、かつ同じ校名を用いることで、統一感がある校名案となりました。

また、首都圏中央自動車道（以下、圏央道とする。）が町の中心を東西に走る姿が、『町から鳥の翼が広がるようなイメージがある』とのことから、川島町が未来に向かって大きく飛躍する願いと期待を込めて、その側道（町道1-5号線）に「つばさ・みらい通り」という名称をつけたことにも由来しています。



◆ 3つのカテゴリー・4つの区分における校名案

 : 教育委員会で選定された校名案（5件）（下図の①～⑤）

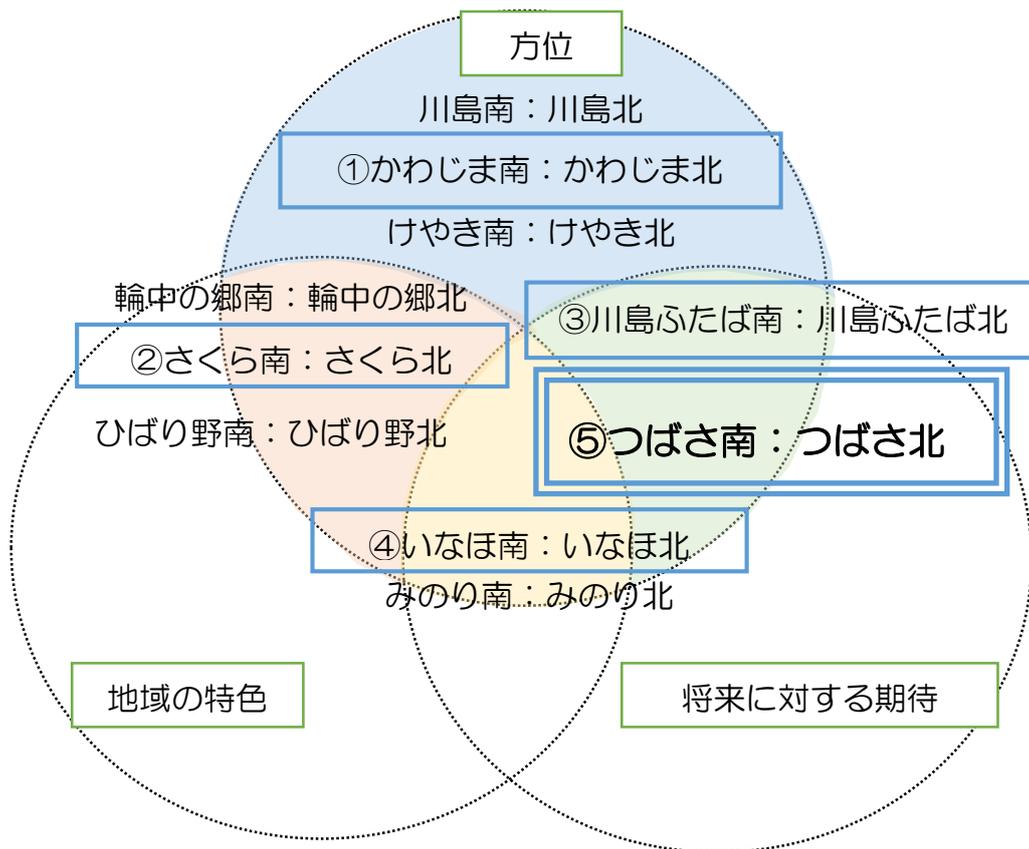
【協議内容】

- ・ 統合協議会での協議経過を尊重し、「方位」、「地域の特色」、「将来に対する期待感」の3つのカテゴリーを基本とする。
- ・ さらに4つの区分（下図を参照）からバランスをとって選定する。
- ・ 「地域の特性」「将来に対する期待」に加え、「意味が分かりやすい」「読みやすさ（ひらがなが多いなど）」「他（他市町村の学校など）と混同しない」を選定の視点とする。
- ・ 4区分ごとにそれぞれ優位性を比較して、最終的に下図の①～⑤の5件を選定した。

 : 総合教育会議で選定された校名案（1件）（下図の⑤）

【協議内容】

- ・ 将来に期待する明るいイメージと、従来の考えに捉われない斬新な発想を取り入れる考えから「将来に対する期待感」を重視する。
- ・ 町の東西を走る圏央道が、昨年10月に県内全域で開通し、東日本をつなぐ動脈となったことから、町の発展が期待される。東西に伸びる圏央道は、側道が「つばさ・みらい通り」の名称であり、翼のようにイメージできる。
- ・ 「かわじま」や「いなほ」という名称も地域性や、実り豊かで将来への期待が感じるが、未来に向けて力強くアクティブに飛び立って欲しいという願いを込めて「つばさ」がよい。
- ・ 「つばさ」には、力強く羽ばたくことや、パワーや広がりを感じる。平仮名による表現のやさしさもよい。
- ・ 未来を担う子供たちに「世の中に出て広く活躍してほしい。」「川島町から世界へ羽ばたいてほしい。」という願いを込める。
- ・ 総合教育会議のメンバーの総意で「川島町立つばさ南小学校」「川島町立つばさ北小学校」を選定した。



● 校名が最終決定されるまでの流れ

